

参加から応募への流れ

学校（児童や生徒と先生の取り組み）の省エネ活動を取りまとめて、表彰をめざし東京への切符を手に入れてください。

アクション1：参加申し込み

<添付の参加申込書を参照>

申込書に記入の上、フリーFAX下さい。

アクション2：省エネ実践の構想（過去活動でも可能）

- ①テーマ設定 → 実践レポート応募票のタイトル
- ②省エネ実践活動 → 実践レポート本体

アクション3：省エネ活動の開始（過去活動の場合は思い起こしと整理）

- ①行動の記録 → 実践レポート本体の方法
- ②効果の検討 → 実践レポート本体の結果

アクション4：投稿用実践レポートの作成（過去活動の応募も可能）

- ①応募票の作成 ⇒ 基礎的属性の記入

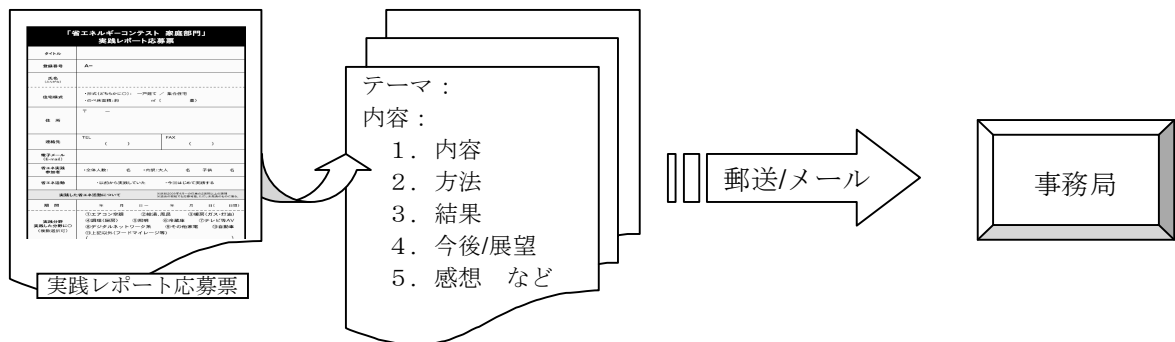
<添付の応募票を参照>

- ②実践レポートの作成 ⇒ アクション2・3の作文

- 1) 内容：経緯や気づき(発想)と省エネ・アイデアの概略
- 2) 方法：アイデアの日々の実践行動への具体化やアプローチ
- 3) 結果：取組んだ活動の成果のまとめ

アクション5：実践レポート投稿による応募（過去活動の応募も可能）

- ①応募票を表紙にして実践レポートを郵送（電子化してメールにて発信）
- ②応募受領確認連絡待ち



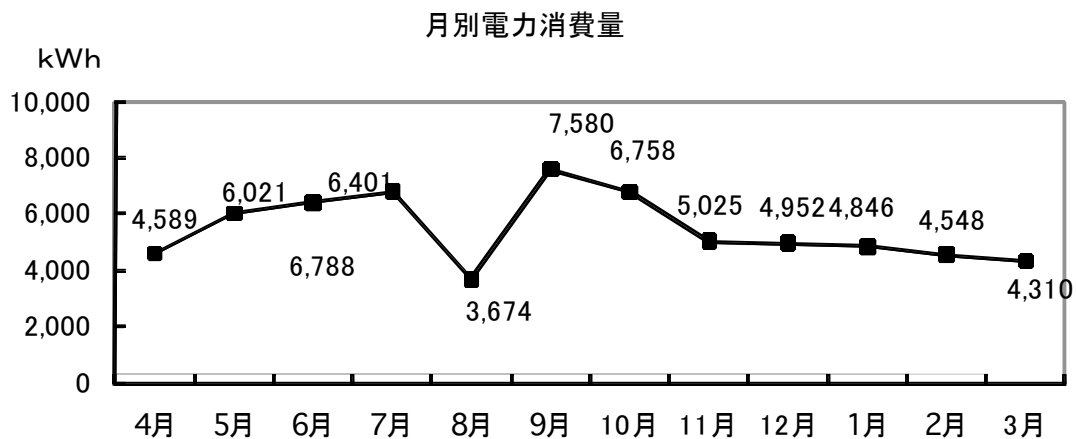
アクション6：審査結果待ち

- ①表彰候補になった場合は事務局より連絡があります。
- ②見事受賞の場合は2月中旬に東京へご招待されます。

省エネコンテスト事例（学校部門）

テーマ「葉っぱの力で省エネしよう！」

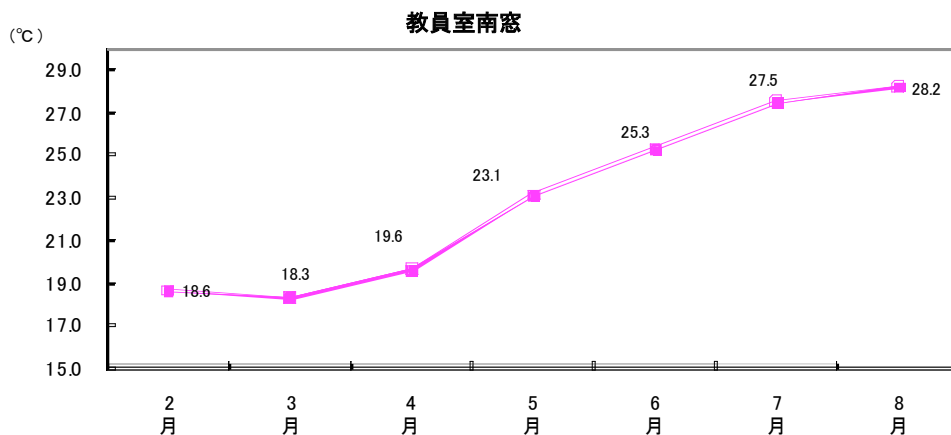
内容：小学校で毎月に使う電気をグラフにしました。すると8月の夏休み期間を除いて5月から10月の期間の消費量が多いことに気がきました。この期間はちょうどエアコンを使っている時期とほぼ同じです。そこで、エアコンの省エネに学校で取り組みました。エアコンを使っている部屋は職員室、校長室、保健室でこの3つは同じ棟の南向きの一階に並んでいます。（下図参照）



南

保健室	校長室	職員室
-----	-----	-----

そこで、職員室の窓際の温度がどれくらいあるか、「おんどとり」という温度計で調べてみました。毎月の平均温度をグラフにしたものが下のグラフです。5月から窓際は23℃以上あることが分かりました。



そこで、子どもたちと一緒に、どうしたら窓際の温度が下がるかを調べました。その結果グリーンカーテンを使うと涼しくなり、エアコンが省エネできることが分かりました。そこで朝顔を職員室の前に植えて、グリーンカーテンにしました。実施した省エネの方法は以下のとおりです。

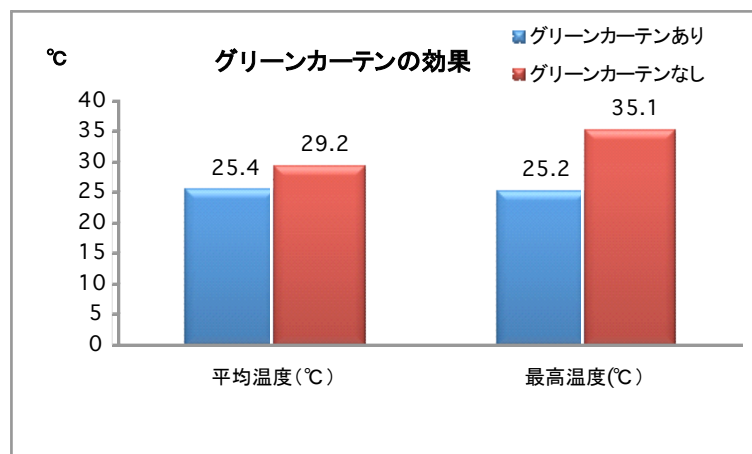
(1)4月 朝顔を職員室の前にプランターで植えた。

(2)朝顔が職員室の窓を全て隠すまで成長した時から、グリーンカーテンと校舎との間の温度を「おんどとり」で測った。同じようにグリーンカーテンがない校長室の前の温度を測った。

<結果>

7月の温度計測の結果、グリーンカーテンの効果は平均で3.8℃、最高で9.9℃あるということが分かりました。

	平均温度(℃)	最高温度(℃)
グリーンカーテンあり	25.4	25.2
グリーンカーテンなし	29.2	35.1
差	-3.8	-9.9



<電力消費量>グリーンカーテンの効果を前年同月と比較すると約1,920 kWh の省エネでした。

	電力消費量(kWh)
昨年7月	6,401
今年7月	4,481
差	1,920

